

2021年元旦メッセージ「私自身が共に」

聖書 出エジプト33章12～23節

小菅 剛

2018年胆振東部地震、2019年熊本集中豪雨、2020年コロナ世界感染と苦悩する年が続いています。新しい年、何が起こるかわかりませんが、「私自身が共に行き、あなたに安息を与える」と約束しておられます。教団70周年記念誌のタイトルは「主の臨在と共に」です。教団は、出エジプト記33章14節にみ言葉に立って祝福を得てきました。羊ヶ丘教会は、創立60周年を迎え、記念誌のタイトルは「御顔の輝き」です。この御顔の輝きは、「私自身」の原意です。ここに信仰生活と奉仕の一切の秘訣がここにあります。

#### 第一に、新しい出発に伴う約束です：1

ホレブの山に滞在していました。そこは失敗の場所でした。主は「さあ、ここを立って上りなさい」と民に命じられます。あなたも失敗の場所に居ませんか。神は、そこから出発を命じられます。新しく出発しましょう。

#### 第二は、信仰者の本質的弱さに対する約束です：15

神は、一緒に行かないと言われました。モーセは祈ります(：12～14)。彼の心の願いは、天使と一緒にではなく神と一緒に行って欲しかったのです。そうでなければモーセはこの民を導いて約束の地に行くことはできないと言います。これまで神と一緒にいたから奉仕ができました。本質的な弱さをモーセは荒れ野の奥で学んだのでした。この弱さに対する約束です。

#### 第三は、他の民族、人々との異なる秘訣の約束です：14

神は臨在の約束は、神に祈り求めるモーセに与えられました。「わたし自身」とは原文で「わたしの顔」です。モーセは宿営の外に臨在の幕屋を持っていました。神は、モーセが臨在の幕屋に入ると雲の柱から下って来られました。そこで「主は人がその友と語るように、顔と顔を合わせてモーセに語られた。」(：7～11)。これがモーセの奉仕に対する備えでした。神との親しい交わりはモーセの力の秘訣でした。神は、この顔と顔を合わせる恵みを約束されました。この神が教会と一緒に歩んでくださることが、他の人、他の集まりと異なることとなります。神は民を守り、教え、導き、健康を与え、困難の中に平安を与えてくださいます。異なる民族になれます。

★主の年明けまして、おめでとうございます。2021年も主にある交わりを宜しくお願い致します。今年もご家族に恵みと平安があり、ご健康でありますようにお祈りします。

★札幌羊ヶ丘教会は今年60周年を迎えます。感謝と70周年に向かって前進する年であります。60周年記念事業として昨年は、椅子ソファ新設、カレンダー発行、今年は1月22日感謝記念礼拝、記念誌「御顔の輝き」出版、現会堂の修繕などに取り組みます。会堂維持献金がこれらの費用に充てられます。

★昨年は新型コロナウイルス世界感染の年。よりこれまで経験しません一年を過ごしました。教会の主な活動であります主日礼拝と祈禱会を守ることが精いっぱいでした。当たり前だったことが当たり前でありませんでした。その中で、神様は「全能者の陰」(詩篇91編)に宿らせて下さり、群れを守ってくださいました。まだ、コロナの感染は拡大していますが、その中での主の働きを祈り、教えられて実行していきます。続いて、自粛が萎縮とにならないように心がけます。

★今年の教会標語は、

「今こそ、次世代への宣教、信仰継承」3年目

「私自身が共に歩み、あなたに安息を与える」出エジ33:14

「御言葉を宣べ伝えなさい。時が良くても悪くても、

それをつづけなさい」

2テモテ4:2

コロナ感染と言う悪い時も、宣教は進められて行きます。臨在(私自身)を覚えて宣教と弟子化に励みましょう。

★今年から聖書協会共同訳聖書を使用します。この聖書は日本聖書協会翻訳聖書です。日本聖書協会は世界聖書協会と祈りを合わせて世界宣教に取り組む団体です。コロナが落ち着きましたら、この聖書についての説明会を持ちます。旧新共同訳を持参くださっても構いません。

★苫小牧伝道6年目に力を入れます。

昨年から関雅人伝道師による働きが進められます。静かに祝福の風が吹いています。お祈りと協力をお願いします。

★新しい聖書で聖書通読に取り組んでみませんか。読みやすいと評判の訳です。新共同訳(ある人は口語訳)と読み比べるのも恵みです。